

資格・試験概要

●「調剤報酬請求事務の資格」の位置付け

実際に調剤を行う薬剤師は国家資格であり、業務として行うには必ず資格を取得した者が行わなければなりません。しかし、調剤報酬請求事務(保険薬局事務)にはそのような制度は設けられていません。調剤報酬請求事務には、業界でも認知されているさまざまな民間資格がありますが、理論上は、未経験者や無資格者が就業しても問題ありません。

とはいえ、どの業界でも当てはまることですが、保険薬局が求人を行う際には、できるだけ即戦力を求めたいと考えます。そうなりますと、未経験者よりも経験者、無資格者よりも有資格者であるほうが就職に有利となります。また、すでに就業されている方でも、自身の能力の証明として取得しておく、職場での評価や離職後の再就職で評価されやすくなります。

「調剤報酬請求事務の資格」の選び方

「調剤報酬請求事務の資格」には、先ほど述べたようにさまざまな民間資格があり、難易度や受験資格、試験で問われる内容もそれぞれ異なります。資格の種類が多いことと、業務において資格の取得が絶対ではないことから、各資格の業界での評価にも差があります。資格の取得には時間と費用がかかるため、コストをかけた割に評価がなされない、ということは避けたいところです。では、どのような資格を選ぶべきでしょうか。

これもどの業界でも当てはまることですが、評価されやすい資格とは、誰でも取得できるような簡単なものではなく、しっかりした勉強が必要な試験の資格です。

合格率が1桁台のようなあまりにも難しい資格は勉強の時間と費用のコストが膨大になってしまいますが、幸い「調剤報酬請求事務の資格」には合格率が極端に低い資格はありませんので、きちんと勉強すれば十分合格できるレベルの資格を取得することがおすすめです。

また、「調剤報酬請求事務の資格」には、受験資格が不問のものと、予備校や通信講座など特定の教育機関での受講が条件のものがあります。後者は講義が受けられる分だけ基礎からの理解がしやすいですが、取得難易度の低いものが多く、また受講の費用もかかる傾向にあります。そのため、本書では前者を推奨する立場を取っておりますが、前者でおすすめの資格を2つご紹介したいと思います。

「調剤事務管理士」は、JSMA(技術認定振興協会)が実施しているメジャーな「調剤報酬請求事務」資格の1つです。受験資格が設けられておらず、在宅試験として年間を通して実施しているため、独学の方でも受験しやすいことが特徴です。

受験を申し込むと、受験日の3日前頃に試験問題が届くように郵送されてくるので、受験日後の提出期限までに答案を作成し、同封された提出用封筒で返送します。

受験の際はテキストやノート等の資料、計算機を使用して答案作成を行えますが、合格点が高めに設定されているため、きちんと理解した上での解答が求められます。

実際の受験にあたり、資格および試験の詳細につきましては、JSMAの公式ホームページ)をご確認ください。

試験概要

受験資格なし

試験日 毎月第4土曜日 翌日の日曜日

合格基準

(1)実技試験/レセプトの作成問題ごとに約60%以上の得点をし、かつ、2問の合計で約80%以上得点すること

(2)学科試験/約80点以上得点すること

※実技・学科ともに合格基準に達した場合に合格と判定

合格発表日受験日から1か月以内に文書で通知

試験内容

(1)実技試験/マークシート(択一式)で調剤報酬明細書を作成(2問)

調剤報酬明細書を点検・作成するために必要な知識。

(2)学科試験/マークシート(択一式)で10問

法規(医療保険制度、調剤報酬の請求についての知識)、

調剤薬局請求事務(調剤報酬点数の算定、調剤報酬明細書の作成、薬剤用語についての知識)

「調剤報酬請求事務専門士」は、一般社団法人専門士検定協会が実施している資格です。

こちらも受験資格が設けられていませんが、資格は1～3級に分かれており、自身の理解度や学習進度に応じた段階的な受験が可能です。設問の多さと試験範囲の広さから難易度が高く、特に1級は合格率が約20%と、数ある調剤事務の資格でも最難関に位置します。また、取得後も2年に1度の更新が設けられておりますが、その分、取得に対する評価が高い資格でもあります。隣り合う級の併願も可能ですが、まずは3級(合格率約70～80%)から受験し、自身の実力を固めていきましょう。

受験にあたり、資格および試験の詳細につきましては、一般社団法人専門士検定協会内にあります、調剤報酬請求事務専門士検定協会の公式ホームページをご確認ください。

試験概要(3級)

受験資格 なし

試験日 年2回

原則、7・12月の第1土曜日

合格発表日検定試験終了後、約1か月後より、郵送にて順次発送

試験会場北海道・仙台・東京・名古屋。大阪・兵庫・福岡

通信受験(NTT回線を利用したFAX受験)

試験時間 学科 60分/実技60分

試験内容・学科 択一式(マークシート)

基礎30問

保険薬局と薬局業務の流れ/調剤報酬請求(点数算定の正しい知識と解釈)/在宅業務/調剤業務補助/薬剤の基礎知識/疾病/医療保険制度、調剤関連法規(医療保険の種類、医薬分業の流れ)/患者接遇

・実技 処方箋から調剤報酬明細書の設問箇所の点数を求める(マークシート)

処方箋3症例